

春

新年のごあいさつ



那珂川町長
大金 伊一

新年明けましておめでと
うございます。謹んで新年のご
あいさつを申し上げます。

皆様には、ご家族おそろい
で新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。

昨年は、長雨の影響が心配
されましたが、幸いにして農
作物は概ね順調な作柄となり
ました。しかし、デフレの進
行や雇用不安など、景気回復
の兆しがなかなか見えてこな
いうえ、新型インフルエンザ
の感染拡大などもあいまって
暗い世相が目立ってしまった
ような気がしています。

また、八月の衆議院議員総
選挙により自民党が政府与党
を退き、民主党による本格的
な政権交代がなされました。
昨年、年末恒例の今年の漢字
として「新」が選ばれました
が、このようなことも選定に
反映されたように思います。

さて、当町の出来事を振り
返って見ますと、四月にはケ-

ブルテレビ高度化事業竣工式
が執り行われ、テレビ受信に
止まらず、町民が等しく福祉
や教育など多岐にわたる場面
で情報化の恩恵を享受できる
情報通信網が整備されました。

また、イノシシ肉加工施設や、
町民有志による温泉を利用し
たトラフグ養殖の取組みは順
調に推移しており、その反響
は大きく、県内外に那珂川町
の認知度を高めるものでした。

一方、小・中学校やスポー
ツ少年団の活躍も目覚しく、
卓球や陸上競技などで関東大
会、全国大会でもすばらしい
成績を上げていることや、
「花の風まつり」、「紅葉新そ
ば祭り」、「第九を歌う会演奏
会」等々、住民が主体となつ
た催しが活発に行われており
ますことは、大変喜ばしいこ

とです。また、国指定史跡の
那須官衙遺跡で大規模な区画
溝が確認され、歴史と文化に
彩られた那珂川町に新たな学
術的な裏づけがなされたこと
も大きな出来事でした。

人、自然、歴史・文化、環
境、特産品等那珂川町が有す
る財産は貴重な資源でもあり
ます。これらの貴重な資源が、
さらに輝きを放つよう、町民
の皆様と知恵を出し合いなが
らあらゆる努力をしてまいり
たいと思っております。

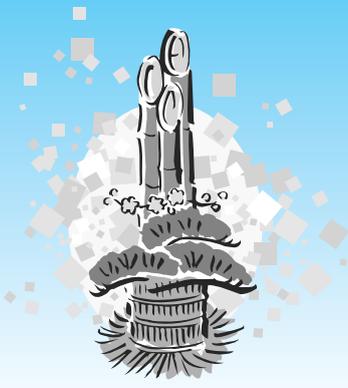
国及び地方では、悪循環か
ら抜け出せない景気低迷によ
り困難な財政運営を余儀なく
されています。当町といたし
ましても財政の健全化を図り、
行財政改革のため、人件費の
抑制や施設の統廃合等に取り
組み、限られた財源の中でい
かに効率よく効果をあげるか、
選択と集中を徹底していかな
ければなりません。

四月からは東部三小学校の
統廃合による「馬頭東小学校」、
小川地区三保育園を統合した
「わかあゆ保育園」がそれぞ
れ開校、開園します。これら
は効率的な運営が図られるこ
とはもちろんですが、それ以
上に、望ましい規模の環境の

中で、子どもたちが切磋琢磨
しながらすくすくと成長して
くれることを期待しています。
私は、昨年十一月の町長就
任にあたり、「地域を元気に
するまちづくり」、「安全と安
心のまちづくり」、「命が輝く
まちづくり」、「楽しく学ぶま
ちづくり」、「自然にやさしい
環境のまちづくり」、「町民と
いっしょに考えるまちづくり」
の六つの基本方針を立てまし
た。

この基本方針の下、町のプ
ランド開発推進、積極的な企
業誘致活動、町民の交通手段
を確保するデマンド型交通シ
ステムの確立のほか、子ども
医療費助成の義務教育終了時
までの拡大、学校の耐震化や
スクールバスの配備等教育環
境の整備、ごみ排出量の削減
などの諸施策に力を注いでま
いります。

これからも笑顔のある明る
いまちづくりにまい進する所
存ですので、なお一層のご支
援ご協力をお願い申し上げま
す。
年の初めにあたり皆様のご
多幸とご健勝を心からお祈り
申し上げます、新年のごあいさつ
といたします。



2010年 平成22年

迎



那珂川町議会議長
石田 彬良

新年明けましておめでとう
ございます。町民の皆様には、
それぞれの感慨や抱負を胸に、
お健やかに新春をお迎えのこ
とと、心からお喜びを申し上
げます。

さて、昨年のわが国の社会
情勢を振り返って見ますと、
一昨年のアメリカ発の金融危
機に端を発した経済不況は、
国の度重なる緊急経済対策に
もかわらず回復の兆しが見
えず、企業における経営規模
縮小、労働者の解雇、新規就
職者の内定率の低下など、多
くの国民生活に影響を与えま
した。また、物価の高騰によ
り、国民消費の低迷が続き、
その反動としてデフレの進行
が懸念されています。

これまで、官僚任せだった
国の予算編成も、「事業仕分
け」が導入され、予算編成に
初めてメスが入られました。
不要不急事業を削減し、無駄
をなくすことは大いに賛同で
きることでありますが、マニフェ
スト重視により、本当に国民が
望んでいる事務事業に、正当
な予算が充てられているのか
は疑問が残ります。特に、財
政力の低い市町村にとっては、
地方交付税や国庫補助金の今
後の動向が地方自治体の運営
に大きな影響を及ぼすことと
なります。

当町にとっても景気低迷に
よる影響、政権交代による影
響は少なからず町財政に波及
してくるものと思われま
す。

さて、那珂川町に目を向け
てみますと、昨年は、町の三
大プロジェクトとして進めら
れてきたケーブルテレビ高度
化事業が完了し、町内全域に
新しいテレビシステムが構築
され、町が誇れる施設ができ
ました。また、全国的に話題
となったのは、イノシシ肉の
加工施設と温泉水を活用した
トラフグの養殖で、今後、新
たな町おこしの起爆剤となる
よう期待しているところです。

一方、議会におきましても、
議会活性化に向けた取組みと
して、議会運営の見直し、一
般質問での一問一答方式の導
入のほか、子ども議会を開催
しました。

さて、本年は、那珂川町が
誕生して五年目を迎え、節目
の年となります。合併後、町
民の一体感・融和の醸成と各
種事務事業に取り組み
てきたところであ
り、新町の基礎づく
りが概ね完了したと
ともに那珂川町民で
あるといった認識は、
より高まったものと
感じています。しか
しながら、今後、取
り組まなくてはなら
ない大きな課題が山
積しております。現
在、従来の行政主導
型から町民の皆さん
と共に「協働のまちづく
り」が進められており、意見
や提言を最大限に活かし、新
時代に相応しい地方議会の確
立を目指したいと考えます。

四月には町議会議員の選挙
があり、議員定数も三名削減
され、十五名となりますが、
議会本来の機能を十分に発揮
し、町民の皆様の負託とご期
待に応えられるよう努力して
まいりますので、皆様の特段
のご理解とご支援をお願い申
上げます。

結びに、新しい年が皆様にと
って実り多き年になります
よう、心からご祈念申し上げ、
新年のあいさついたします。

